

平成 28 年 7 月 19 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 福井県立武生高等学校 松田亜紀子
2. 講師氏名: Dr. Andreas Dechant
3. 同行者氏名: なし
4. 実施日時: 平成28年7月15日 (金) 11:35 ~12:40
5. 参加生徒: 2年生 36人、 ___年生 ___人、 ___年生 ___人 (合計 36人)
備考: 理数科の生徒
6. 講演題目: (英文)Diffusing to Japan: Science, Daily life and Something in Between
(和文)日本へ : 科学、日常生活とその間にあるもの
7. 講演概要: ドイツと日本の比較
なぜ物理学を専攻したか
なぜ日本(京都大学)で研究をする事を選んだか
物理学を学ぶ上で大切なこと
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 55 分 質疑応答時間 5 分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講演
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
なし (使用語彙は90%既習語) 近日中に日本語で大枠の確認(英語の授業で)
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
11. その他特筆すべき事項: